

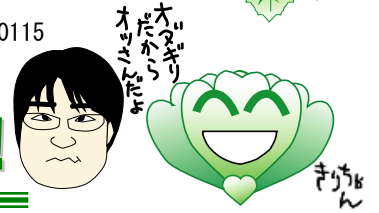


平成28年4月号(隔月発行)

札幌司法書士会 会長 猿田史典 編集担当責任者 番井菊世 <http://www.sihosyosi.or.jp/>

〒060-0042 札幌市中央区大通西13丁目4番地 電話 011-281-3505 FAX 011-261-0115


司法書士の子育て座談会 第1弾!





新年度、ということで新企画「子育て座談会」を3月に開催しました。こうした身近なテーマの中にも皆さんと一緒に考えていけることが眠っているかも…と思い、子育て経験のある司法書士5名とともに、あれこれと話してみました。今回は「出産～就学前」の問題点です。


出席者

- Aさん 一男(18才)一女(16才)の母・事務所兼自宅・親がそばにいない
 Bさん 二女(19才・15才)の父・妻公務員・事務所兼自宅・別居の親が市内にいる
 Cさん 二女(9才・6才)の母・夫会社員・事務所兼自宅・別居の親が市内にいる
 Dさん 一男(11才)一女(8才)の母・夫公務員・事務所は自宅と別・別居の親が市内にいる
 Eさん 二男(15才・11才)の母・夫司法書士・事務所兼自宅・別居の親が市内にいる


 オッさん、久しぶり！司法書士の先輩たちと「子育て座談会」やったんだってね。話を聞かせてよ。


 親になるとか子育てとか、まだ僕は経験したことがなくて、結構たいへんなだろうなと漠然と思いながら座談会を始めてみると、さっそく「車の運転中につわりがひどくなり困った(D)」「妊娠中でも遠方の法務局へ登記申請に行った(E)」なんて話が飛び交い、やっぱりなあと。一方で「妊娠中は子どもがお腹の中にいるためそれほど働きづらさを感じなかった(C)」と聞けばなるほどと思い、子どもが生まれると「子どもをだっこしたまま法務局へ登記申請に(B)」なんて微笑ましい話も。でも、子どもを保育園に預ける頃の話に移ると…。

 保育園ね…最近「保育園落ちた」のブログとか、近隣の理解が得られず開設を断念したとか、いろいろニュースになっているよね。

 うん。図らずもいいタイミングで座談会やったでしょ！…って自画自賛してる場合じゃないか。つい先日も厚生労働省が待機児童解消に向けた緊急対策会議を開催したみたいだけど、こちら

の座談会でもいろんな話が出たよ。

 やっぱり、なかなかすんなりと子どもを預けられない？

 今回の座談会は、江別在住のEさんを除いて他は札幌在住、10年以上前に保育園問題を経験した人から、今まさに当事者の人もいる。みんなそれぞれ子育てを続けつつ仕事もがんばろうと思い、子どもを保育園に預けようとしたところ、「当時は司法書士になる前の求職中で、「これから働こう」としているのに求職中イコール「今は働いていない」ということで預けられなかった(A)」んだって。「子どもの面倒を見ながらだと思いうように求職活動が進まず、就職先が決まらないので、なかなか子どもを預けられない(A)」ばかりか、「公的機関からの情報により保育園以外で子供を預かってくれるところを見つけて利用したものの、月々の利用料の額がかなりのもので、ますます働く必要に迫られた(A)」とのこと。

職業と子育て



うーん、なんという悪循環。でも、読者の中にもこんな経験のある方がいるかもね。



夫婦共働きでも、「夫婦の所得金額や稼働時間がネックとなりなかなか預けられない(D)」ことがあるみたい。幼稚園という選択肢もあるものの「(延長が可能とはいえ)幼稚園は預けられる時間が短い(C)」となれば、夫婦の仕事の時間や内容によっては本当に保育園を利用したいのに、待たががかっちゃう。



預け先の場所についても、いろいろ難しいことがあるのかな？



札幌市では「どこでもいい、と割り切れればそれなりに入れるところはあるが…(B)」とのことだけれど、毎日の送り迎えや家族で過ごす時間のことを考えれば、やはりどこでもいいというわけにはね。「行かせたい保育園があり1年ほど別なところに預けながら空きを待った(B)」「近場に認可保育園があれば他の条件は妥協してもいいかも(C)」など、こども親としての悩みどころのようだよ。



そもそも預け先の保育園が足りない、空きがないといった話もよく耳にするよね。保育士さんの待遇改善などの問題点も指摘されている。子育て中の人や従事者のこうした声を、うまくすくい上げてもらいたいものだね。



現在子育て中の方は同時に働き盛りの世代でもあるから、子育てしながら気持ちよく働ける環境を整えば、地域や社会がますます活気づくんじゃないだろうか。未来を担う子どもたちにも安心して成長してもらいたいな。



とはいえ、子育てと仕事の両立は決して楽ではないし、子どもの成長に伴って学費のことも気になるだろうし…もっと話を聞きたいな。次回も「子育て座談会」続きます。お楽しみに！

司法書士はいわば「自営業者」であるため、子育てをしやすい面もありますが、一方で「産休」も「育休」もありません。仕事を休んでいたら、その間収入がなくなるのはもちろん、お客さんが離れていってしまうという不安もあります。

働き方が多様化している現代社会においては、子育てに関するニーズや困りごとが多様化しているように感じます。働き方の特性に応じた子育て支援を行うためには、様々な立場の方の話をきく必要があると感じました。

熊本地震発生に伴い、被災された方、そのご家族関係者に心よりお見舞い申し上げます。

非常に残念なことですが、こうした事態に便乗し、人の善意につけこんだ「募金詐欺」や、不安を煽った「悪質商法」などがツイッターやフェイスブックなどから今回も発生しているように感じます。

通常の生活では気をつけていても、このような非常事態においては巧みに誘導されてしまうことも想定されます。十分に注意をして、信頼できる機関に相談したり、周囲の人との情報交換を行って下さい。

- ☑ どの団体が募金を集めているかチェック
- ☑ 募金はどのように使われるかチェック
- ☑ 友人などからSNSなどで伝わってきた情報であっても、大元がどこかチェック
- ☑ 便乗の振り込め詐欺・特殊詐欺などにも注意
- ☑ 災害への不安を煽って近づいてくる人に注意
- ☑ 募金詐欺や怪しげなものに気が付いたら情報交換

編集後記

子育て未経験の私の、子どもとの接点といえば義理の妹の男の子。二人とも小学生で、会えばキャッチボールしたりテレビゲームで遊んでくれます。おじさんと遊んでくれてありがとね。もう少し大きくなったら見向きもしてくれなくなるだろうけど、おじさんは君たちが立派な大人に成長していく姿を見守ります。そんなおじさんは、原稿のアップが遅くて先輩に迷惑をかけるような、立派じゃない大人だけど。ごめんなさい。(才)